

彙報

◆會員著書紹介

◆一九九〇年度日本語日本文学会総会が六月三〇日、新島記念

藤本徳明

講堂にて開催された。記念講演に皇学館大学教授の西宮一民

『説話文学の世界』（共編著）

世界思想社

氏を迎え、「神武紀の地名と説話」をお話しいただいた。参

吉野政治

一九八七年一月二〇日

会者一同、日本書紀の世界に魅了された思いを胸に、盛会の

『漢字の復権』

日中出版

うちに終了した。

◆一〇月一七日、第一回映画会が田辺学舎A・VⅢ教室にて開

村木新次郎

一九八八年四月一〇日

催された。宮本輝原作・小栗康平監督の「泥の河」が上映さ

『ケーススタディ 日本語の語彙』（共編著）

桜楓社

れた。冒頭に解説があり、続いて二時間余り映画の世界を堪能

寺川真知夫

一九八九年一月二五日

能した。

◆一二月一一日、留学生とのハイキング交流会が行なわれた。

『叡山の文化』（共著）

世界思想社

学生会員が会員に呼びかけ五〇名近くの参加者を得た。東大

『神田秀夫先生喜寿記念 古事記・日本書紀論集』（共著）

一九八九年六月二〇日

寺、春日大社など留学生と共に秋の大和路を満喫した。

◆一二月一五日、秋季講演会として京都大学助教授山梨正明氏

『神田秀夫先生喜寿記念 古事記・日本書紀論集』（共著）

統群書類従完成会

による「言語運用のメカニズム」が催される予定である。多

『論集 古代の歌と説話』（共編著）

一九八九年一月二〇日

くの来聴を期したい。

『論集 古代の歌と説話』（共編著）

和泉書院

一九九〇年一月三〇日

安森敏隆

『幻想の視覚―斎藤茂吉と塚本邦雄―』

双文社出版

一九八九年二月一五日

吉海直人

『百人一首研究必携』

桜楓社

一九九〇年一月一〇日

中川成美

『昭和文学論考―マチとムラと―』（共著）

八木書店

一九九〇年四月一六日

丸山敬介

『経験の浅い日本語教師の問題点の研究』

創拓社

一九九〇年五月一日

「同志社女子大学 日本語日本文学」投稿規定

一、当誌は同志社女子大学日本語日本文学会の機関誌として、会員に学術的研究の発表の場を提供するものです。会員の意欲的な投稿を広く募ります。

二、論文は原則として四百字詰原稿用紙で三〇〜四〇枚程度、資料、翻刻等は一回の掲載を六〇枚程度とします。この範囲を超える場合は、採否を編集委員会にご一任下さい。（ワープロ使用の際は四百字詰原稿用紙に換算した枚数を末尾に明示下さい。また図版、写真などがある場合は入る箇所を指示したうえで、提出して下さい。）

三、註、引用の体裁は統一を図らせていただきます。特別の場合を除き、校正は二校までとし、以後は編集委員会の校正とします。原稿は返却しますが、必ずコピーをとってご提出下さい。

四、第三号締めきり 一九九一年四月一五日敬守。（原稿は日本語日本文学会事務室知徳館三一四号室宛でお送り下さい。）